

# レッツ鳥取じまん ～しゃんしゃん傘踊り編～

知的障がい  
中学部  
生活単元学習  
資料の活用

## ねらい

- 自分たちの暮らす鳥取の歴史や文化について知ることを目的とし「しゃんしゃん傘踊り」を切り口に、実際に話を聞いたり調べたりするなかで、鳥取の魅力に気づかせる。
- テーマについて、自分が興味・関心をもったことについて調べ、発表を通じて広く知らせたいという気持ちを育む。

## 学習展開（調べ学習グループ）

- ① 生徒たちに、「しゃんしゃん傘踊り」について興味のあることをもとに3つのグループに分かれて学習を行う。（「調べる」「制作」「表現」）
- ② 「やまびこ館」や「万葉歴史館」を見学した際に聞いた話や資料をもとに、調べる内容を決める。
- ③ 県立図書館資料やリーフレットなどの資料をもとにまとめたワークシートにまとめ、傘踊りと祭りの歴史について知る。
- ④ 傘踊りやしゃんしゃん祭りが始まった頃など、節目となる時代の背景や、当時の人々の暮らしや文化について知り、劇のシナリオを作ってプレゼン資料にまとめる。
- ⑤ 校内の児童生徒や教師、保護者や関係者に、プレゼン資料を用いながら劇をしたり、質問コーナーで答えたりしながら、「しゃんしゃん傘踊り」の歴史や人々の思いを伝える。



明治時代に流行した牛鍋調理



着物で演じた、江戸～昭和の劇

## 司書教諭と学校司書の関わり

- 司書教諭は、単元の学習開始前に、学校司書に内容を伝えて資料の相談をする。
- 学習の進度や生徒の実態・興味関心に応じて学習内容を選び展開を考え、「明治～昭和」の暮らしに関する資料を学校司書に相談し参考資料の収集を依頼する。

## 指導のポイント

- 初めに明治時代や江戸時代について学習し、歴史の流れを知る。
- 実際に着物を着たり、明治時代に流行した「牛鍋」の調理実習をしたりする。博物館やわらべ館の昔の暮らし展示を利用し、劇の撮影をすることで歴史を体感する。
- じまん展で、調べたことを発表したり、成果物を鳥取県立図書館に展示して地域へ魅力を伝えたりすることで、達成感を高める。

## 資料

鳥取県立博物館（1994年9月）『郷土と博物館 第40巻第1号』  
久林肇（1997年8月）『しゃんしゃん祭物語』  
野津龍（1982年11月）『生きている民族探訪 鳥取』 第一法規  
因幡万葉歴史館（2004年10月）『因幡の傘踊り資料集』  
西本豊弘（2006）『衣食住の歴史』ポプラ社  
田中力（2005）『昔のくらし』ポプラ社  
鳥取市郷土民俗資料館（1995年8月）『「しゃんしゃん祭」30年の歩み』  
鳥取市教育委員会学校教育課指導係（2013年）『平成25年度 鳥取市小・中学校道徳郷土資料集「鳥取市の志」』